

令和6年度
佐賀河川事務所予算概要

記者発表資料

令和6年4月
国土交通省九州地方整備局
佐賀河川事務所

【問い合わせ先】

佐賀河川事務所 TEL) 0952-41-8801(代)

技術副所長 原 和久 (内線204)

事業対策官 遠山 修平 (内線208)

佐賀河川事務所 令和6年度の事業

1. 全体事業概要

国土交通省佐賀河川事務所は、今年度から、これまでの所管である嘉瀬川ダム及び佐賀導水路の管理、城原川ダムの建設事業に加え、佐賀県内の一級河川（直轄河川）のうち嘉瀬川、城原川、佐賀江川及び田手川の改修工事及び維持修繕その他の管理を行うことになりました。

これにより、嘉瀬川及び城原川等の流域並びに流況調整河川である佐賀導水路の一体的な治水及び利水上の強化を図ります。

佐賀河川事務所は、令和6年度も引き続き、災害から住民の皆様の生活と地域の経済活動を守るため、自然環境に配慮しつつ事業を推進します。

2. 令和6年度予算

(単位:百万円)

予算区分・費目		令和6年度 当初	令和5年度 補正、推進費	令和5年度 当初
嘉 瀬 川	河川改修費	335	110	335
	河川維持修繕費	403	222	412
	総合水系環境整備事業費(嘉瀬川ダム)	21	0	21
	堰堤維持費(嘉瀬川ダム)	430	0	429
	計	1,189	332	1,197
筑 後 川	河川改修費 ※	4,349	3,631	3,648
	河川維持修繕費 ※	2,321	1,808	2,276
	堰堤維持費(佐賀導水路)	753	20	775
	堰堤改良事業費(佐賀導水路)	64	-	-
	河川開発総合事業費(城原川ダム)	1,084	100	902
計	8,571	5,559	7,601	
合 計	河川改修費	4,684	3,741	3,983
	河川維持修繕費	2,724	2,030	2,688
	総合水系環境整備事業費	21	0	21
	堰堤維持費	1,183	20	1,204
	堰堤改良事業費	64	-	-
	河川開発総合事業費	1,084	100	902
計	9,760	5,891	8,798	

本表は、工事諸費を含みません。

※ は、筑後川水系全体の予算であり、当事務所が所管する城原川、佐賀江川、田手川以外の予算も含む。

かせがわ 嘉瀬川 一般河川改修事業 (かせがわ 嘉瀬川水系)

さがし かせまち かせ
佐賀県佐賀市嘉瀬町嘉瀬地先

1. 事業概要

嘉瀬川水系における流域治水の一環として、嘉瀬川(嘉瀬地区)において高潮堤を実施し、早期に安全性の向上を図る。

2. 事業主体

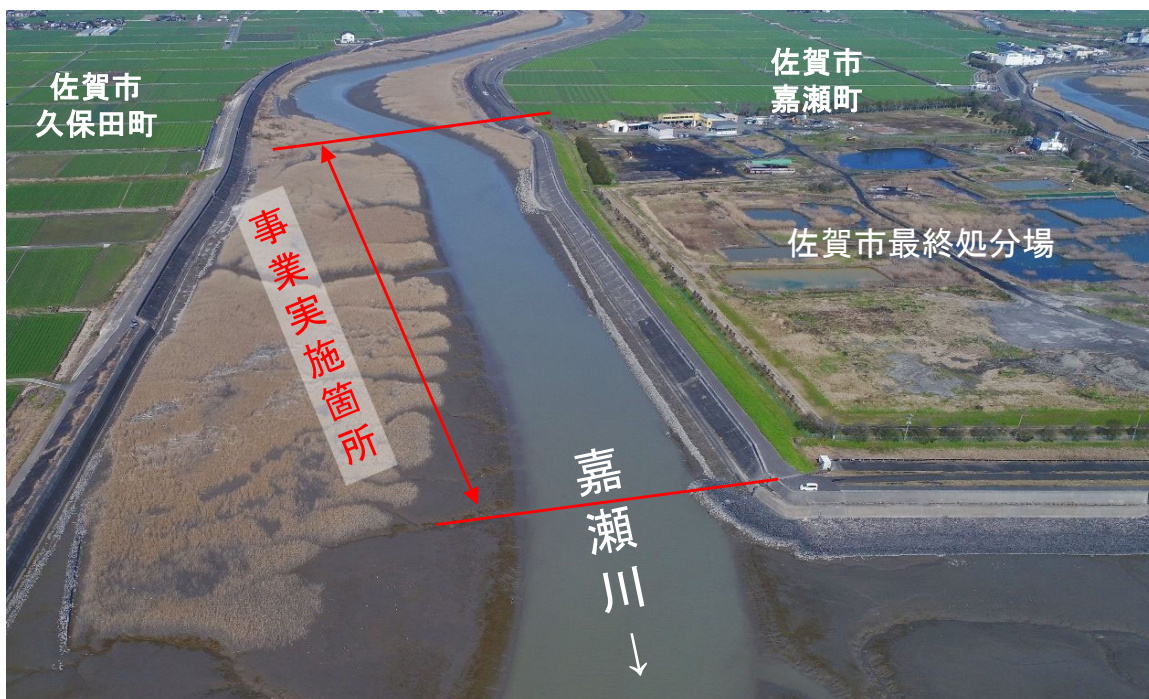
九州地方整備局

3. 令和6年度当初予算額

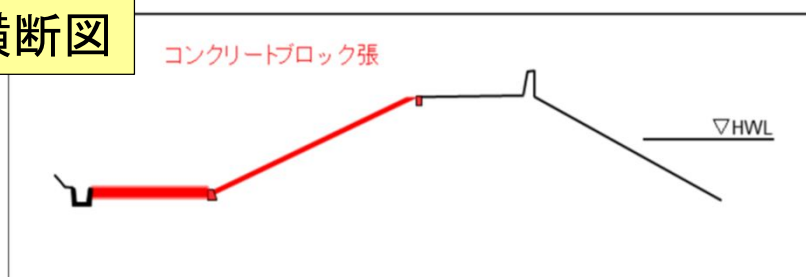
事業費 335百万円

4. 事業内容

高潮堤 L=100m を実施。



横断図



かせがわ 嘉瀬川 一般河川改修事業 (嘉瀬川水系)

おぎし みかつきちょう かねだ
佐賀県小城市三日月町金田地先

1. 事業概要

嘉瀬川水系における流域治水の一環として、嘉瀬川(金田地区)において、堤防強化を実施し、早期に安全性の向上を図る。

2. 事業主体

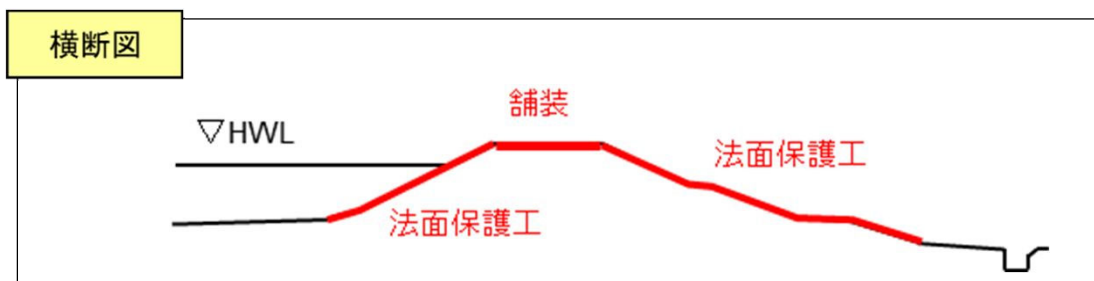
九州地方整備局

3. 令和6年度当初予算額

事業費 335百万円

4. 事業内容

堤防強化 L=100m を実施。



筑後川支川城原川の河川改修を促進します ～筑後川支川城原川洪水対策～

◆目的と概要

筑後川支川城原川は水害に対する安全度が低く、近年水防団の出動の目安となる「氾濫注意水位」を超える洪水が発生しています。特に、平成21年7月及び平成22年7月、令和5年7月には、堤防の設計基準となる「計画高水位」を超える洪水により、野越しからの越水、堤防の漏水や法崩れ等の被害が発生しました。また、城原川は天井川であり、ひとたび氾濫すると洪水が広範囲に広がるなど甚大な被害の発生が懸念されます。

このため、洪水を安全に流下させるための堤防拡幅等の整備を行います。

◆事業の内容

効果：堤防整備により、水害に対する安全度の向上を図ります。

場所：佐賀江川合流点～日出来橋上流までの約9.1km（佐賀県神埼市）

事業内容：堤防整備、測量設計等

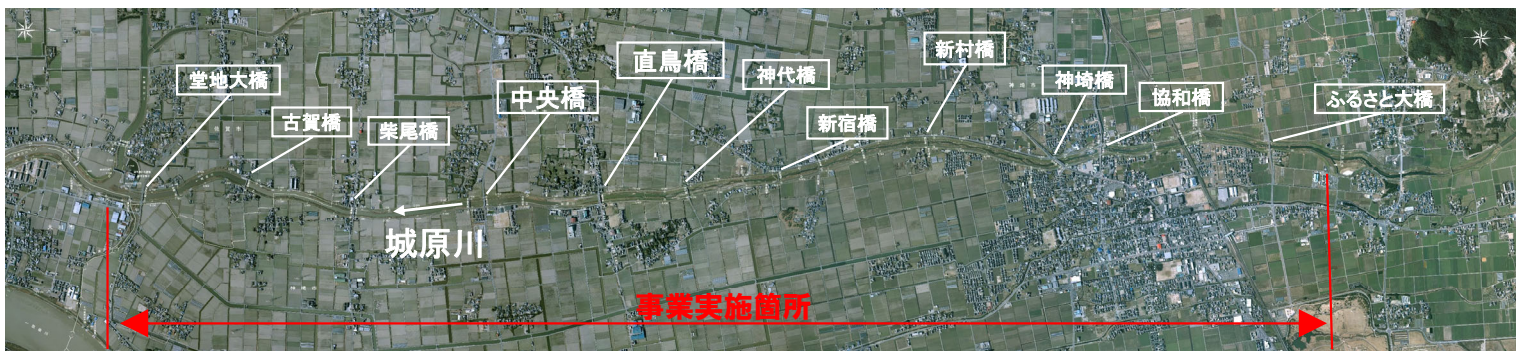
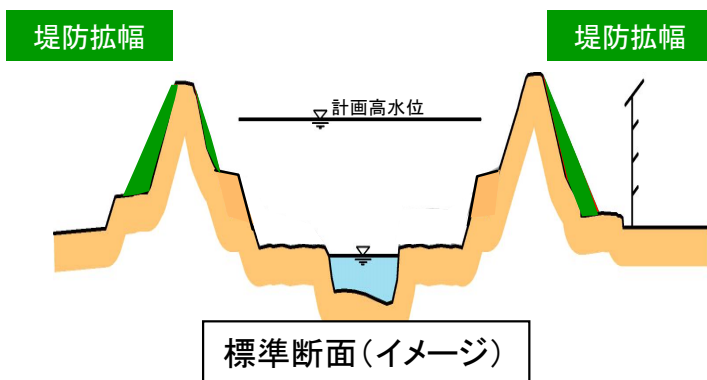
◆令和6年度の予定

堤防整備、測量設計等

位置図



平成21年7月26日洪水の様子(神埼橋)



河川の維持管理

事業の目的

佐賀河川事務所では、嘉瀬川水系の嘉瀬川、祇園川、及び筑後川水系の城原川、田手川、佐賀江川を管轄し、その堤防延長は約70km、樋管・水門・堰・排水機場等河川管理施設約60施設を管理しており、治水、利水、環境を目的として、河道、堤防、施設、流水、空間の管理を実施します。

事業の概要

- ①河道管理：土砂堆積や深掘れ、樹木繁茂などの河川の変化を把握し、治水能力が低下しないように河道を管理します。
- ②堤防管理：堤防は古くから築造され、質・強度ともに不均一のため、定期的に巡視や点検を行い、異常の早期発見に努めます。
- ③施設管理：洪水時に堰、水門、排水機場等の操作を実施するとともに、定期的な点検や補修を行い、確実に機能発揮できるよう施設を管理します。
- ④流水管理：安全で安定した水利用と環境を維持するため、河川流量や水質を監視します。また、河川にオイル等が流出した場合は、関係機関と連携し、速やかに回収します。
- ⑤空間管理：地域住民が安全・快適に利用できるように定期的に巡視し、状態監視を行います。また、環境維持のためゴミ拾いや外来種の駆除等を地域住民と連携して行います。

①河道管理



②堤防管理



③施設管理



⑤空間管理



④流水管理



■事業の概要

嘉瀬川ダムは、有明海から30km上流、「緑と清流と温泉の町・富士町」に建設されたダムであり、周辺には北山ダムや檜原湿原といった自然環境資源を有しており、多種多様な動植物が見られます。

ダム湖は、湖面を利用したボート競技等の開催や、湿性地を利用した野外学習など、多様なイベントが年間を通して開催されていますが、段差等が生じ利用しづらい状況となっており、畑瀬地区では令和4年度に整備が完了しました。

また、令和6年に佐賀県で開催される「2024国スポ(国民スポーツ大会)」では、ボート競技会場としての利用が見込まれています。

水源地域ビジョンの方針である「水恵無限」～水がもたらす恵みを活かしたふるさとづくり～をさらに推進していくため、湖面利用に係る安全施設、基盤整備、環境の保全・活用のための整備を進めます。

■事業の目的

佐賀市の進めるまちづくりの取り組みと連携しながら、ダム湖利用者の安全性の向上、巡視・管理の円滑化を図ります。

■令和6年度の予定

管理用通路(音無地区)

モニタリング(音無地区)



■事業の概要

嘉瀬川ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水や都市用水の補給及び発電を目的とする多目的ダムです。

■事業の目的

①洪水調節

(ダム地点の計画高水流量 $2,200\text{m}^3/\text{s}$ の内、 $1,370\text{m}^3/\text{s}$ の調節を行う。当面は、下流の流下能力に合わせて調節する)

②流水の正常な機能の維持(下流河川の流水の正常な機能の維持と増進を図る)

③かんがい用水(国営筑後川下流土地改良事業(佐賀西部地区:4市3町)に対し、最大 $8.84\text{m}^3/\text{s}$ の用水を補給する)

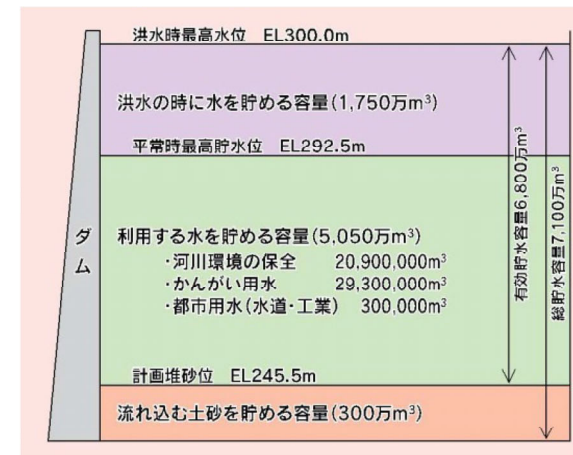
④都市用水(佐賀市に対し、1日最大 $2,000\text{m}^3$ (最大 $0.023\text{m}^3/\text{s}$)の水道用水の取水を可能とする。

また、王子マテリア(株)に対し、1日最大 $3,000\text{m}^3$ の工業用水の取水を可能とする)

⑤発電(嘉瀬川発電所(九州電力(株))において、最大出力 $2,800\text{kW}$ の発電を行う)

■令和6年度の予定

管理設備の点検整備、水文観測、フォローアップ調査(河川水辺の国勢調査等)、流木処理等



◆事業の概要

佐賀導水路は、筑後川、城原川及び嘉瀬川を導水路（管路、開水路）で連絡する流況調整河川（総延長：約23km）で、洪水調節、内水排除、流水の正常な機能の維持（河川維持用水・河川水質浄化用水）および水道用水への補給を目的としています。

◆事業の目的

- ①洪水調節（巨勢川調整池は周辺の家屋などの浸水被害及び巨勢川下流部の洪水被害軽減を図る）
- ②内水排除（導水路に設置する8ヶ所のポンプ施設によって洪水時の内水被害軽減を図る）
- ③流水の正常な機能の維持（嘉瀬川及び城原川の流況改善及び佐賀市内の河川への水質浄化用水の補給）
- ④水道用水の確保（佐賀西部地区5市3町への水道用水の補給）

◆令和6年度の予定

佐賀導水路の施設運用及び管理施設の維持・管理



◆事業の概要

佐賀導水路は平成21年に完成し、洪水調節・内水被害の軽減排除、不特定用水及び水道用水の補給を目的とした施設です。

近年、特にポンプ施設の不具合が頻繁に発生していることから、出水時において安定的に施設機能が発揮できない恐れがあるため、施設の抜本的改良及び高度化等を実施し、信頼性・効率化等の向上を図り、また、併せて耐震化対策も実施します。

◆事業の目的

老朽化したポンプ施設の機能アップ（メンテナンス性向上、分散化）や遠隔制御の二重化等を実施し、故障等によるポンプ停止リスクの最小化を図ります。また、耐震化が必要な施設の耐震対策を実施します。

◆令和6年度の予定

ポンプ場更新設計、耐震対策設計

位置図



ポンプ場更新設計



巨勢川ポンプ場 (東測系)

耐震対策設計



筑後川吐出樋管



ガスタービンエンジン (既設)



筑後川吐出樋管

【城原川ダムの建設事業】

■事業の概要

- 1) 概要：城原川の日出来橋地点において、河川整備基本方針に対応した流量 $690\text{m}^3/\text{s}$ のうち $360\text{m}^3/\text{s}$ の流量低減を図ります。
- 2) 河川名：筑後川水系城原川
- 3) 諸元：集水面積 約 42.5km^2 洪水調節容量 約 350万m^3

■事業の目的：洪水調節

■令和6年度の予定

本体関連の調査・設計、用地補償 等を実施予定。

■城原川流域図



■空から見た城原川ダム予定地付近

